

Ⅱ 結果の内容

《信州ジビエについて》

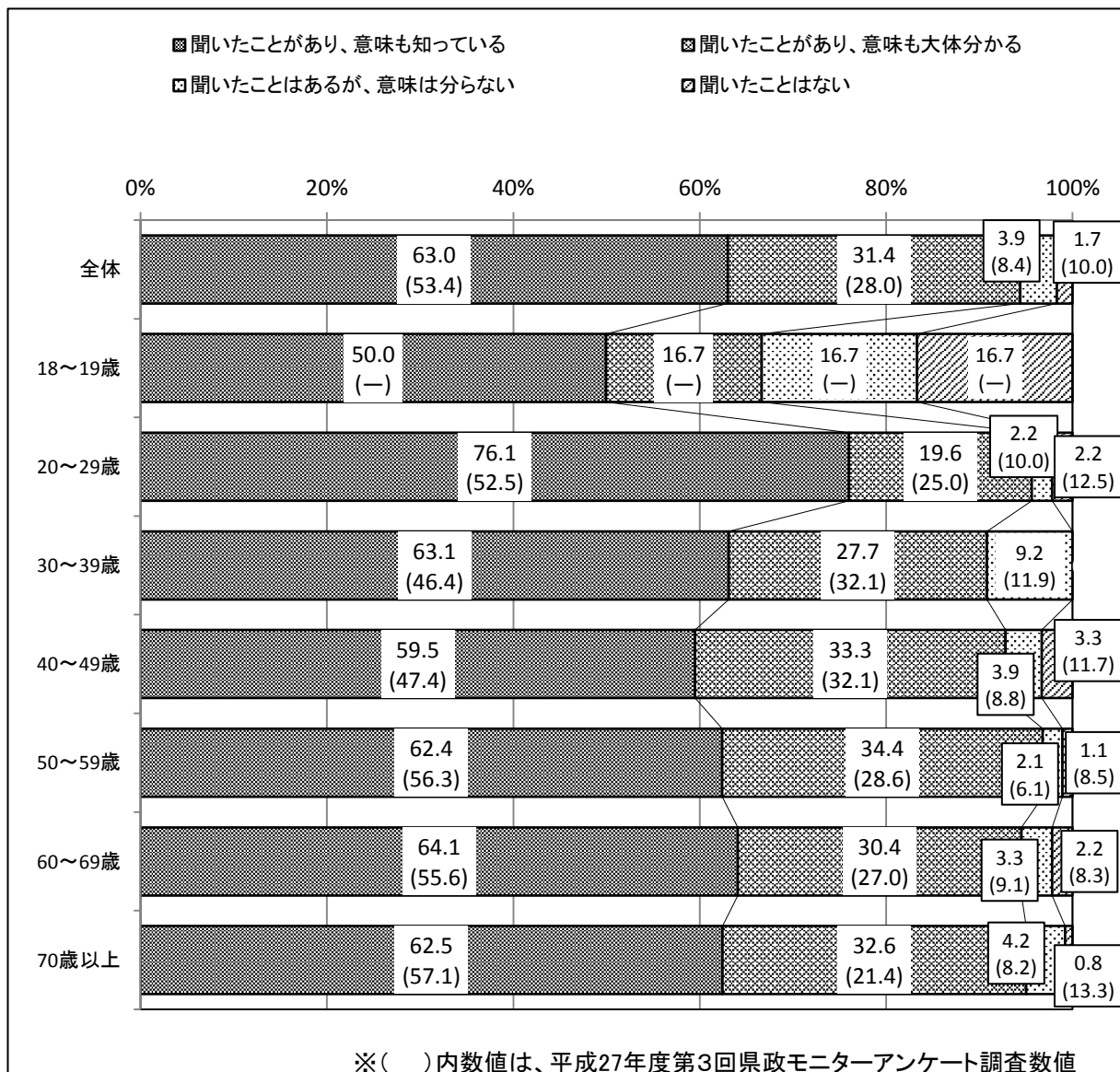
＜「ジビエ」という言葉の認知度＞

「聞いたことがあります、意味も知っている」と「聞いたことがあります、意味も大体分かる」を合わせて9割超

問1 「ジビエ」という言葉を聞いたことがありますか。(○は1つ)

	H30年度 n=1,008		(参考) H27年度 n=829	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
聞いたことがあります、意味も知っている	635	63.0	443	53.4
聞いたことがあります、意味も大体分かる	317	31.4	232	28.0
聞いたことはあるが、意味は分からない	39	3.9	70	8.4
聞いたことはない	17	1.7	83	10.0
無回答	0	0.0	1	0.1

●「聞いたことがあります、意味も知っている」(63.0%)と、「聞いたことがあります、意味も大体分かる」(31.4%)を合わせると94.4%となっている。年代別では50代(96.8%)が最も高く、10代(66.7%)が最も低くなっている。

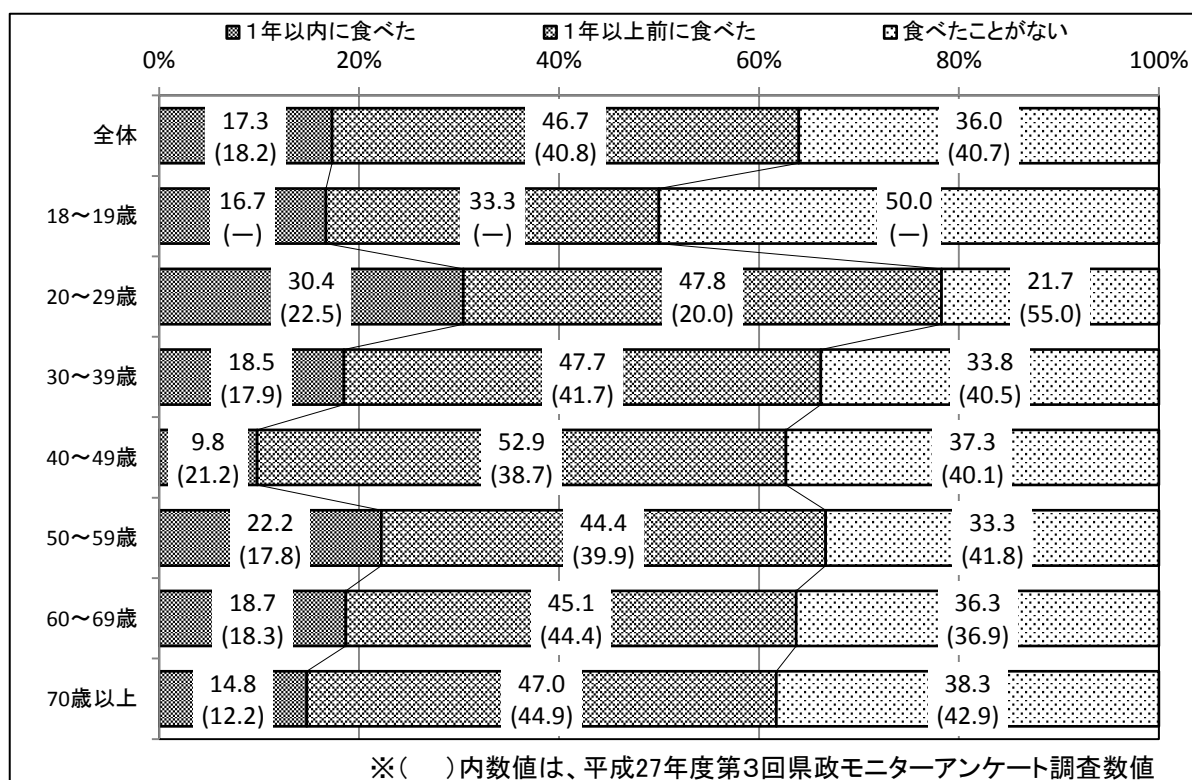


＜シカ肉を食べた経験＞
シカ肉を食べた経験がある人は6割超

問 2-1 今までにシカ肉を食べたことはありますか。(○は1つ)

	H30年度 n=1,008		(参考) H27年度 n=829	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
1年以内に食べた	174	17.3	151	18.2
1年以上前に食べた	471	46.7	338	40.8
食べたことがない	363	36.0	337	40.7
無回答	0	0.0	3	0.4

- 「1年以上前に食べた」が46.7%と最も高く、次に「食べたことがない」(36.0%)となっている。
- 「1年以上前に食べた」(46.7%)と「1年以内に食べた」(17.3%)を合わせると、64.0%がシカ肉を食べた経験がある。



問 2-2 「1年以内に食べた」を選ばれた方は、おおよその回数も教えてください。

	H30年度 n=174		(参考) H27年度 n=151	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
1回	74	42.5	63	41.7
2回	49	28.2	49	32.5
3回	20	11.5	17	11.3
4回	4	2.3	7	4.6
5回	5	2.9	6	4.0
6回以上	12	6.9	2	1.3
無回答	10	5.7	7	4.6

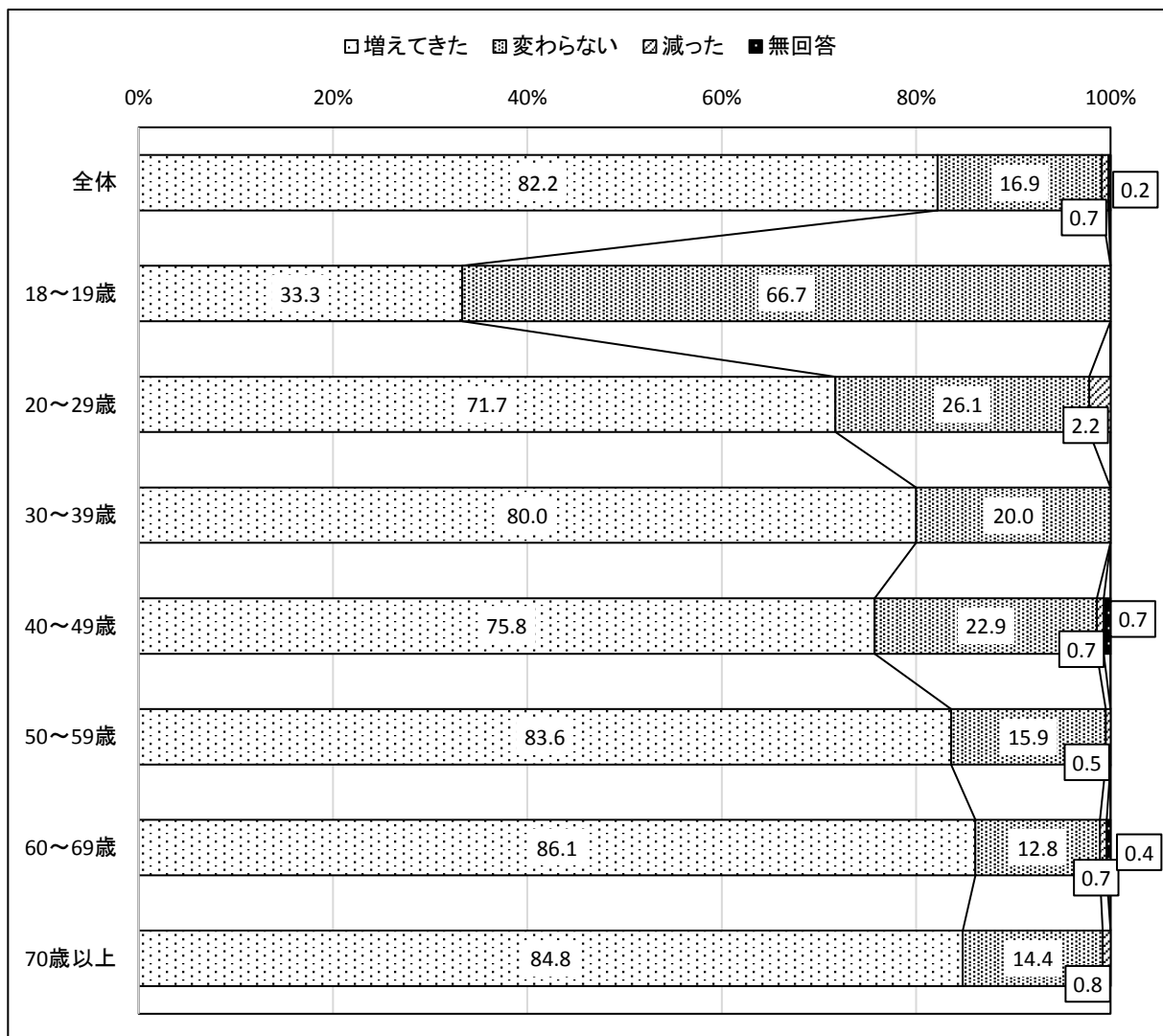
- 1年以内に食べた方のうち、「1回」が42.5%で最も高く、次に「2回」(28.2%)、「3回」(11.5%)となっている。

＜「ジビエ」を見聞きする機会＞
 「ジビエ」という言葉を見聞きする機会が増えたと感じている人が約8割

問3 近年、県内でジビエという言葉を見聞きする機会が増えてきたと感じますか。(○は1つ)

	n= 1,008	回答数 (人)	割合 (%)
増えてきた		829	82.2
変わらない		170	16.9
減った		7	0.7
無回答		2	0.2

●「増えてきた」が82.2%と最も高く、次に「変わらない」(16.9%)、「減った」(0.7%)となっている。

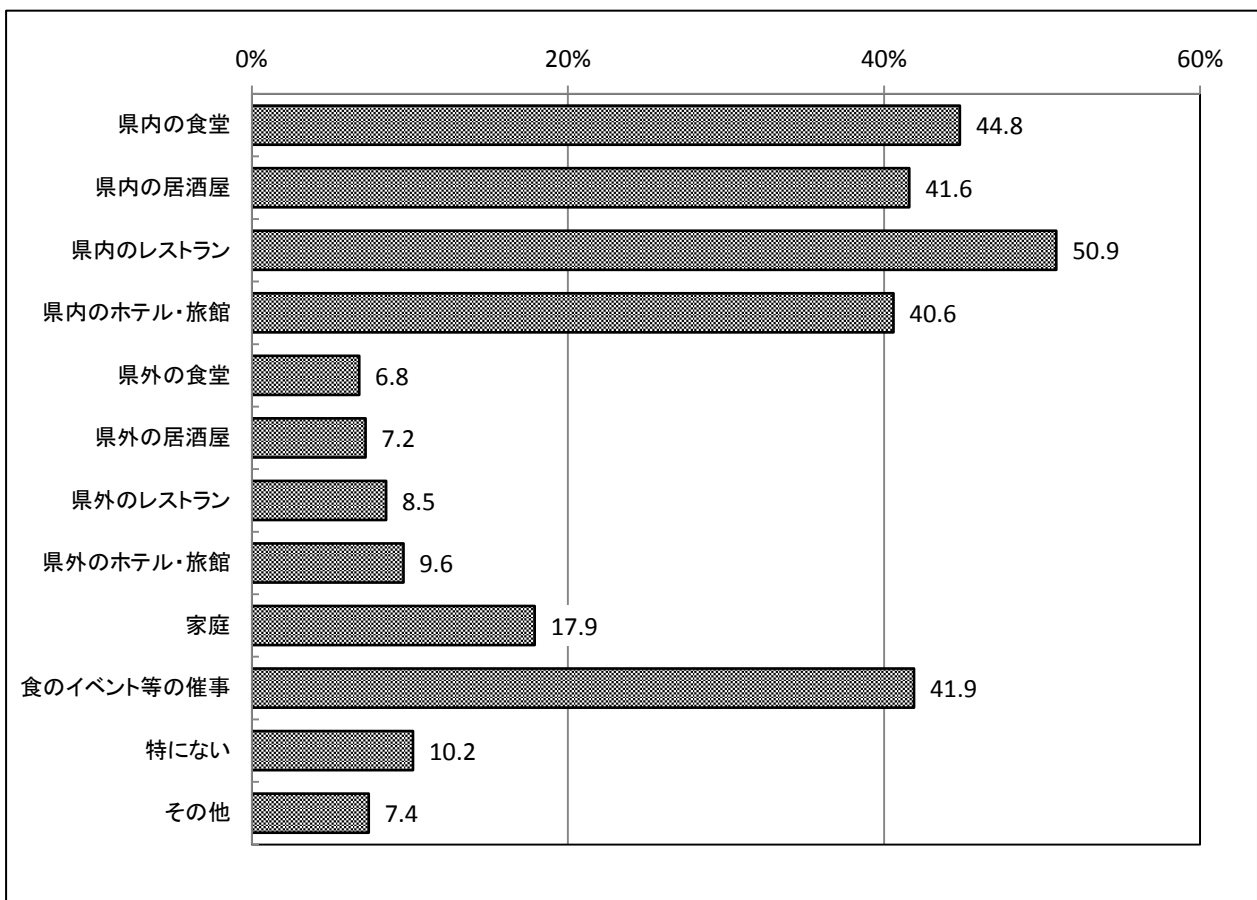


＜「ジビエ」を食べたい場所＞
 「県内のレストラン」が約5割、「県内の食堂」が4割超

問4 どんな場面・場所でジビエを食べたいと思いますか。(複数回答)

	回答数 (人)	割合 (%)
n= 1,008		
県内の食堂	452	44.8
県内の居酒屋	419	41.6
県内のレストラン	513	50.9
県内のホテル・旅館	409	40.6
県外の食堂	69	6.8
県外の居酒屋	73	7.2
県外のレストラン	86	8.5
県外のホテル・旅館	97	9.6
家庭	180	17.9
食のイベント等の催事	422	41.9
特にない	103	10.2
その他	75	7.4

●「県内のレストラン」が50.9%と最も高く、次に「県内の食堂」(44.8%)、「食のイベント等の催事」(41.9%)となっている。



その他としては、「キャンプ」、「カフェ」、「食べたいと思わない」等の回答が見られた。

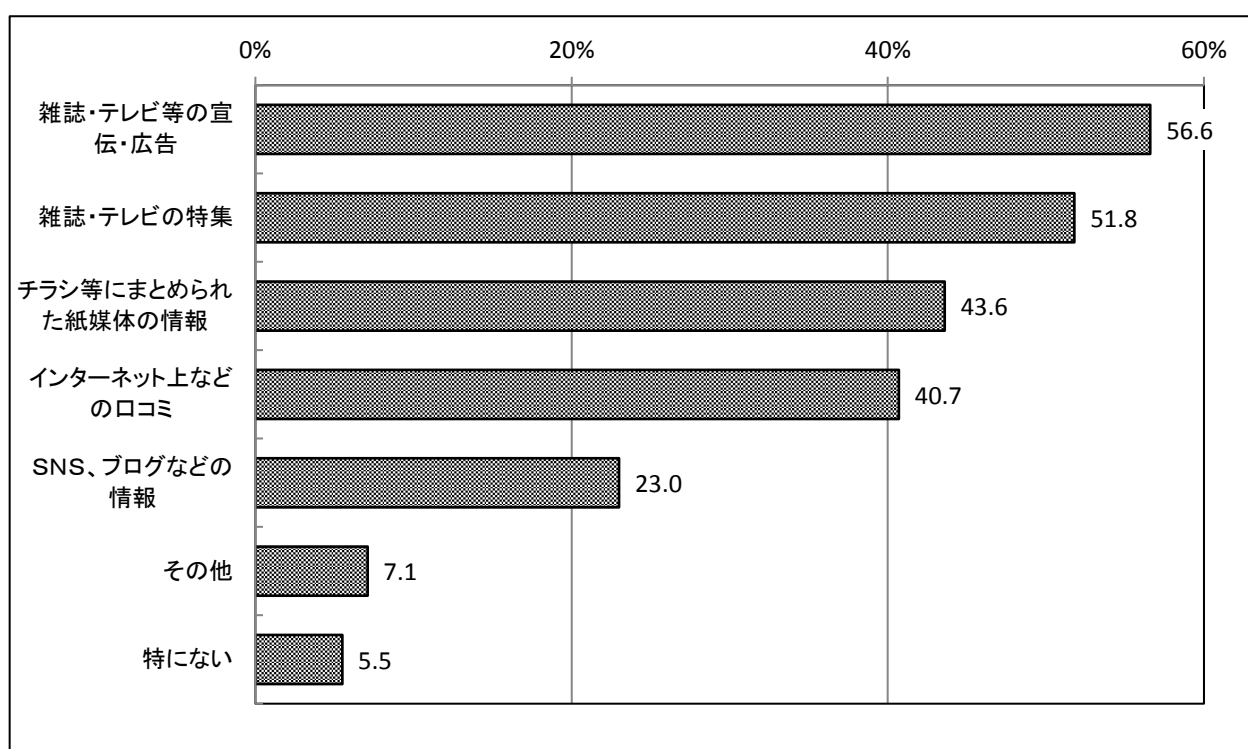
<食に関する情報の収集先>

「雑誌・テレビ等の宣伝・広告」が6割弱、「雑誌・テレビの特集」が約5割

問5 外食先など、食に関する情報の収集先として、参考にするものは何ですか。(〇はいくつでも)

	回答数 (人)	割合 (%)
n= 1,008		
雑誌・テレビ等の宣伝・広告	571	56.6
雑誌・テレビの特集	522	51.8
チラシ等にまとめられた紙媒体の情報	439	43.6
インターネット上などの口コミ	410	40.7
SNS、ブログなどの情報	232	23.0
その他	72	7.1
特にない	55	5.5

●「雑誌・テレビ等の宣伝・広告」が56.6%と最も高く、次に「雑誌・テレビの特集」(51.8%)、「チラシ等にまとめられた紙媒体の情報」(43.6%)となっている。



その他としては、「口コミ」、「知人からの紹介」、「地域の情報誌」等の回答が見られた。

《人権に関する意識について》

＜人権を尊重する意識の定着度＞

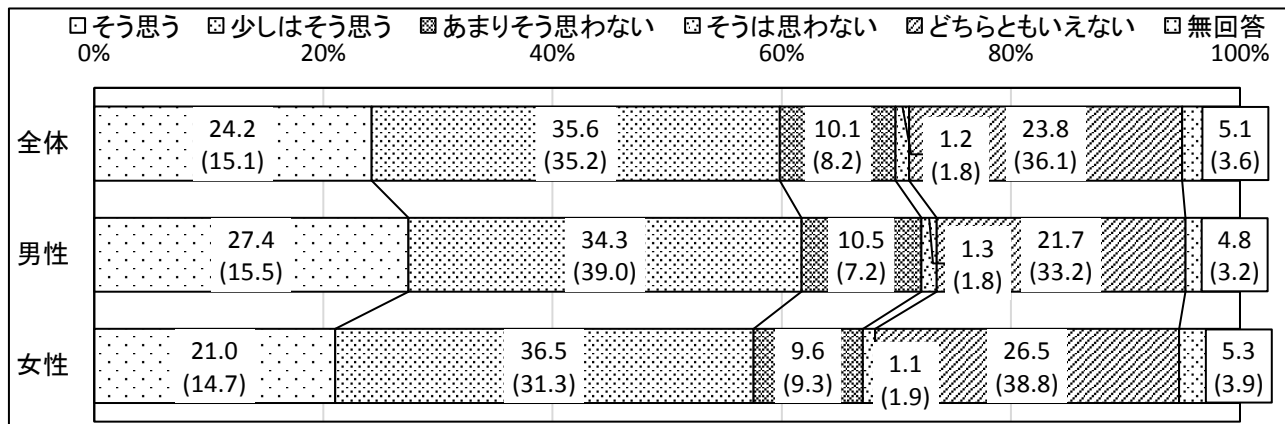
「日常生活において人権が尊重されていると思う」と「少しはそう思う」を合わせて約6割

問6 あなたは日常生活において人権が尊重されていると思いますか。(○は1つ)

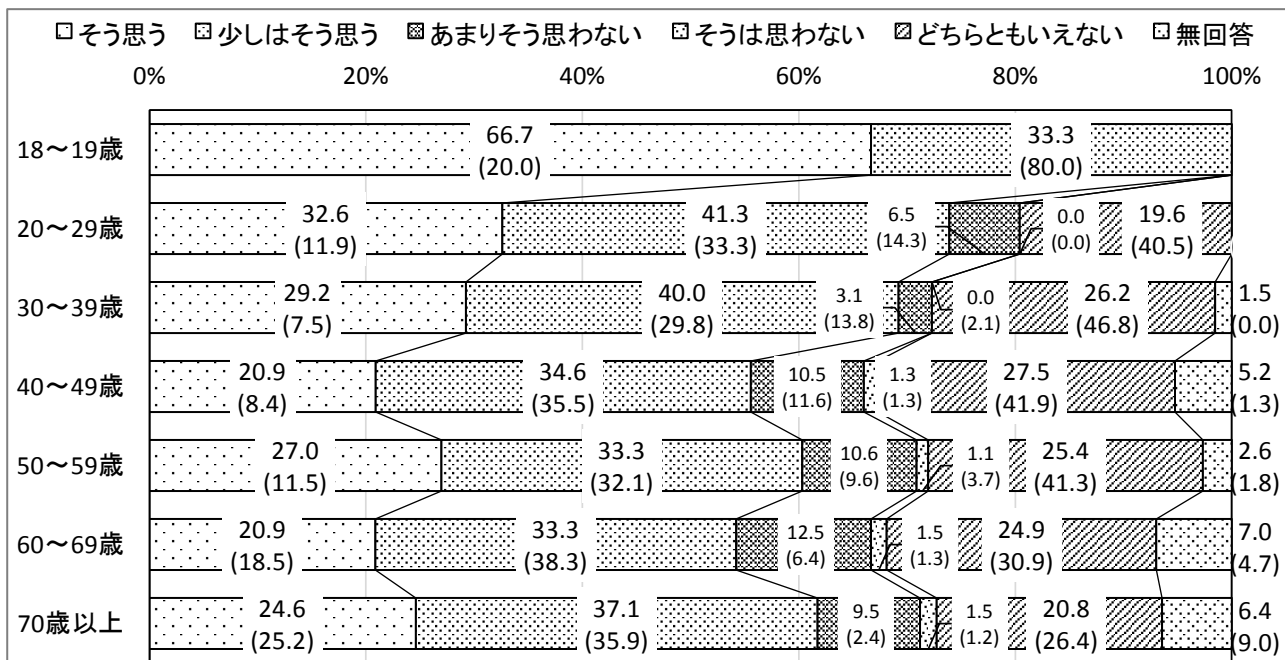
	H30年度 n=1,008		H29年度 n=983	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
そう思う	244	24.2	148	15.1
少しはそう思う	359	35.6	346	35.2
あまりそう思わない	102	10.1	81	8.2
そうは思わない	12	1.2	18	1.8
どちらともいえない	240	23.8	355	36.1
無回答	51	5.1	35	3.6

●「そう思う」、「少しはそう思う」と感じている人の割合は59.8%で、「どちらともいえない」と感じている人の割合は23.8%となっている。

●男女別では、女性(57.5%)の方が男性(61.7%)に比べ、「そう思う」、「少しはそう思う」と感じている割合が低くなっている。



●年代別では、「そう思う」、「少しはそう思う」の割合が最も低いのは60代(54.2%)で、10代から40代では、年代が下がるほど「そう思う」、「少しはそう思う」の割合が高くなっている。



※()内数値は、平成29年度第3回県政モニターアンケート調査数値

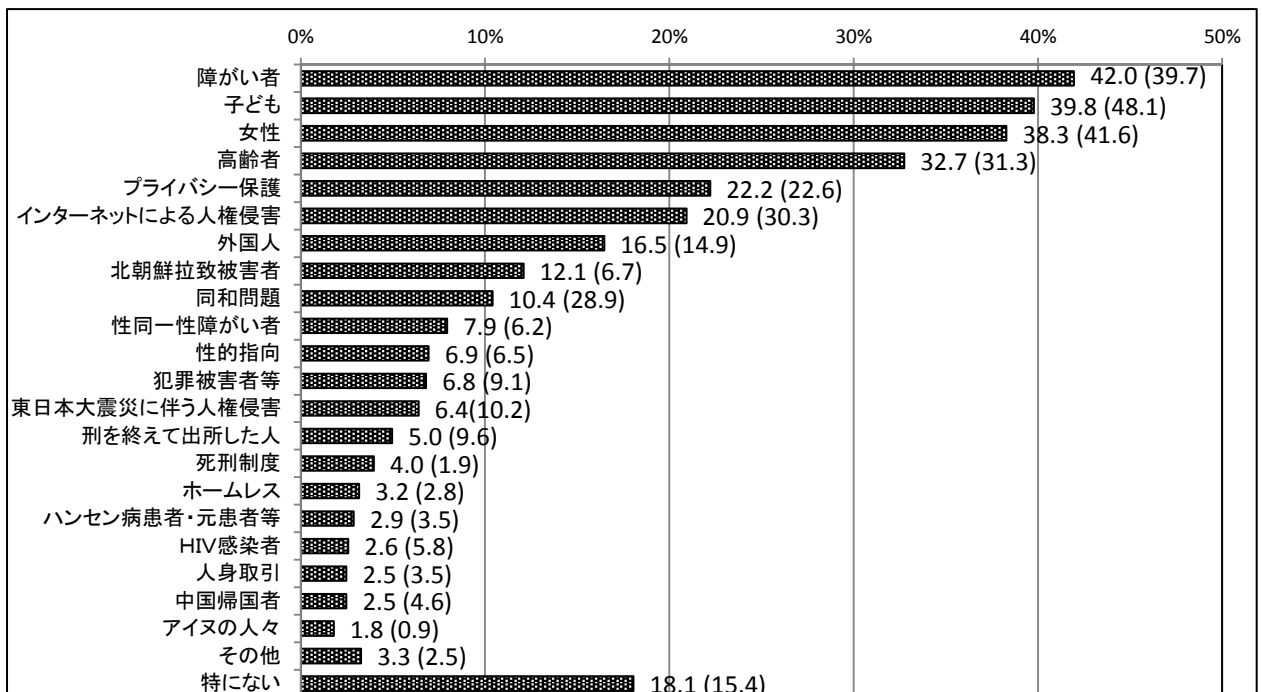
＜身の回りで起きている人権問題＞

「障がい者に関すること」、「子どもに関すること」、「女性に関すること」がそれぞれ約4割

問7 あなたの身の回りで起きている身近な人権問題は何ですか。あてはまるものを選んでください。
(〇はいくつでも)

	H30年度 n=1,008		H29年度 n=983	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
障がい者に関すること	423	42.0	390	39.7
子どもに関すること	401	39.8	473	48.1
女性に関すること	386	38.3	409	41.6
高齢者に関すること	330	32.7	308	31.3
プライバシーの保護に関する問題に関すること	224	22.2	222	22.6
インターネットによる人権侵害に関すること	211	20.9	298	30.3
外国人に関すること	166	16.5	146	14.9
北朝鮮当局によって拉致された被害者等に関すること	122	12.1	66	6.7
同和問題に関すること	105	10.4	284	28.9
性同一性障がい者(生物学的な性とところの性が一致しない者)に関すること	80	7.9	61	6.2
性的指向(同性愛、両性愛)に関すること	70	6.9	64	6.5
犯罪被害者等に関すること	69	6.8	89	9.1
東日本大震災に伴う人権問題に関すること	65	6.4	100	10.2
刑を終えて出所した人に関すること	50	5.0	94	9.6
死刑制度に関すること	40	4.0	19	1.9
ホームレスに関すること	32	3.2	28	2.8
ハンセン病患者・元患者等に関すること	29	2.9	34	3.5
HIV感染者に関すること	26	2.6	57	5.8
人身取引(性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引)に関すること	25	2.5	34	3.5
中国帰国者(永住帰国した中国残留邦人等)に関すること	25	2.5	45	4.6
アイヌの人々に関すること	18	1.8	9	0.9
その他	33	3.3	25	2.5
特にない	182	18.1	151	15.4

●「障がい者に関すること」が42.0%と最も多く、次に「子どもに関すること」(39.8%)、「女性に関すること」(38.3%)となっている。



※()内数値は、平成29年度第3回県政モニターアンケート調査数値

＜女性に関する人権問題＞

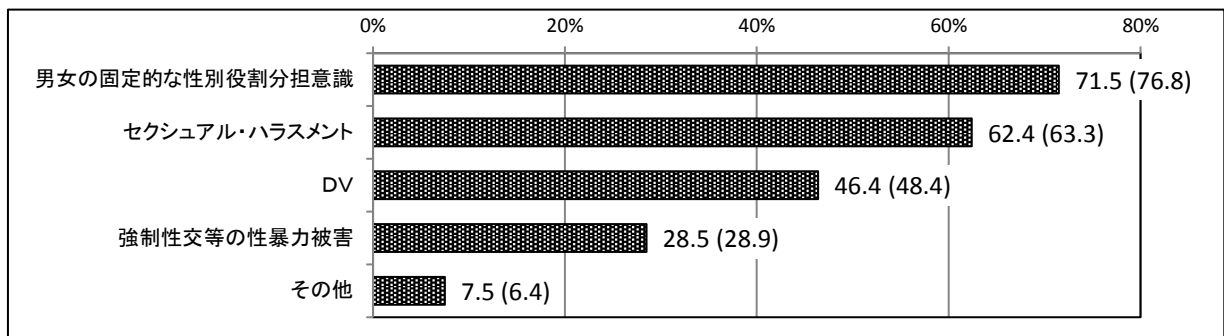
「男女の固定的な性別役割分担意識」が約7割、「セクシュアル・ハラスメント」が約6割

問8 問7で「①女性に関すること」を選んだ方にお伺いします。女性に関する人権問題について、具体的にどのようなものがあると思いますか。(〇はいくつでも)

	H30年度 n=386		H29年度 n=409	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
男女の固定的な性別役割分担意識	276	71.5	314	76.8
セクシュアル・ハラスメント	241	62.4	259	63.3
DV(ドメスティック・バイオレンス)	179	46.4	198	48.4
強制的性交等の性暴力被害	110	28.5	118	28.9
その他	29	7.5	26	6.4

※H29年度調査結果数値について、n数値を誤って983人として計算していたため、割合を訂正しました。

●「男女の固定的な性別役割分担意識」が71.5%と最も多く、次に「セクシュアル・ハラスメント(62.4%)」、「DV」(46.4%)となっている。



＜子どもに関する人権問題＞

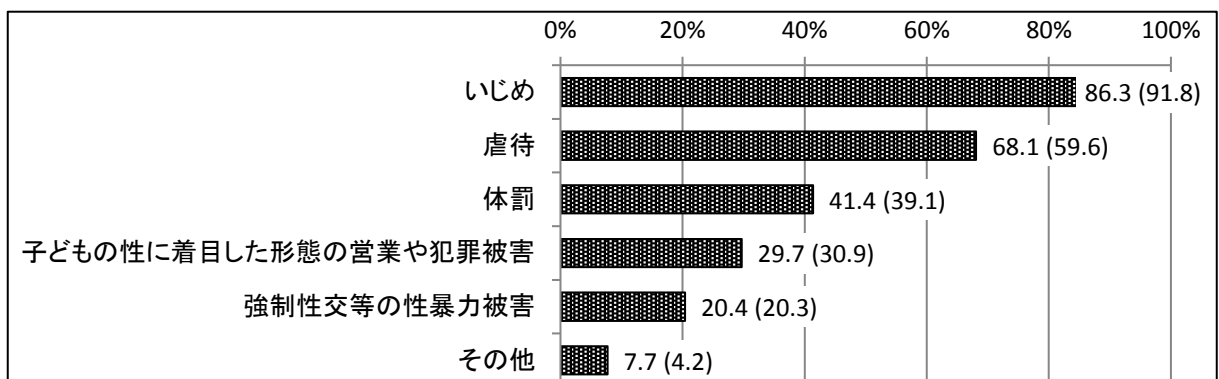
「いじめ」が9割弱、「虐待」が約7割

問9 問7で「②子どもに関すること」を選んだ方にお伺いします。子どもに関する人権問題について、具体的にどのようなものがあると思いますか。(〇はいくつでも)

	H30年度 n=401		H29年度 n=473	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
いじめ	346	86.3	434	91.8
虐待	273	68.1	282	59.6
体罰	166	41.4	185	39.1
子どもの性に着目した形態の営業や犯罪被害	119	29.7	146	30.9
強制的性交等の性暴力被害	82	20.4	96	20.3
その他	31	7.7	20	4.2

※H29年度調査結果数値について、n数値を誤って983人として計算していたため、割合を訂正しました。

●「いじめ」が86.3%と最も多く、次に「虐待」(68.1%)、「体罰」(41.4%)となっている。



※()内数値は、平成29年度第3回県政モニターアンケート調査数値

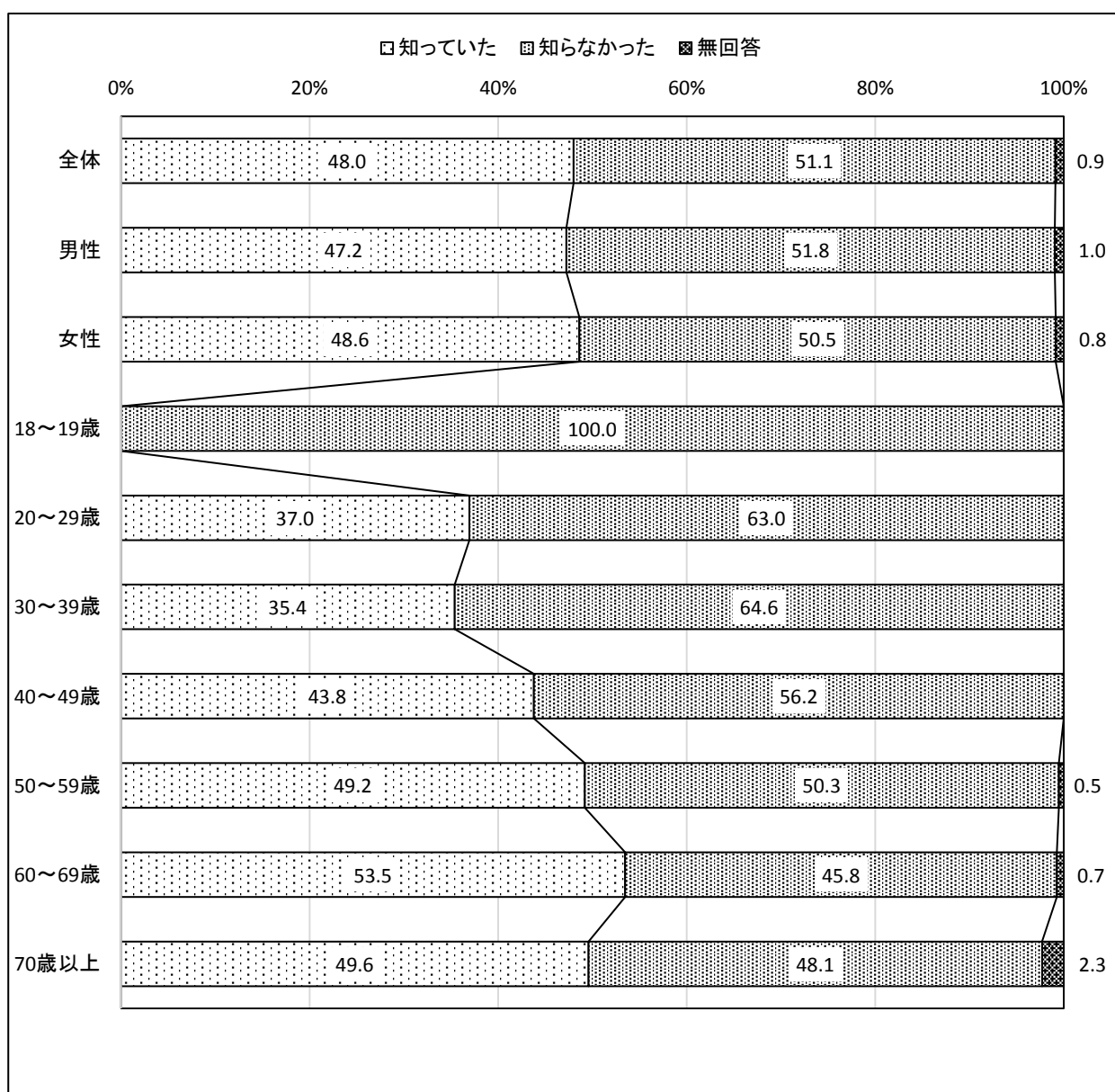
《自殺対策について》

＜県の自殺の現状に関する認識＞
 県の自殺の現状について「知っていた」が約5割

問10 長野県の自殺者数は長い間、毎年400人を超え、この数年は400人を下回っていますが、平成29年においても、322人の方が亡くなっています。このように、毎年多くの方が自殺で亡くなっていることを知っていましたか。(〇は1つ)

	n= 1,008	回答数(人)	割合(%)
知っていた		484	48.0
知らなかった		515	51.1
無回答		9	0.9

●年代別では、「知っていた」と回答した割合は60代が53.5%と最も高く、次に70歳以上(49.6%)、50代(49.2%)となっている。



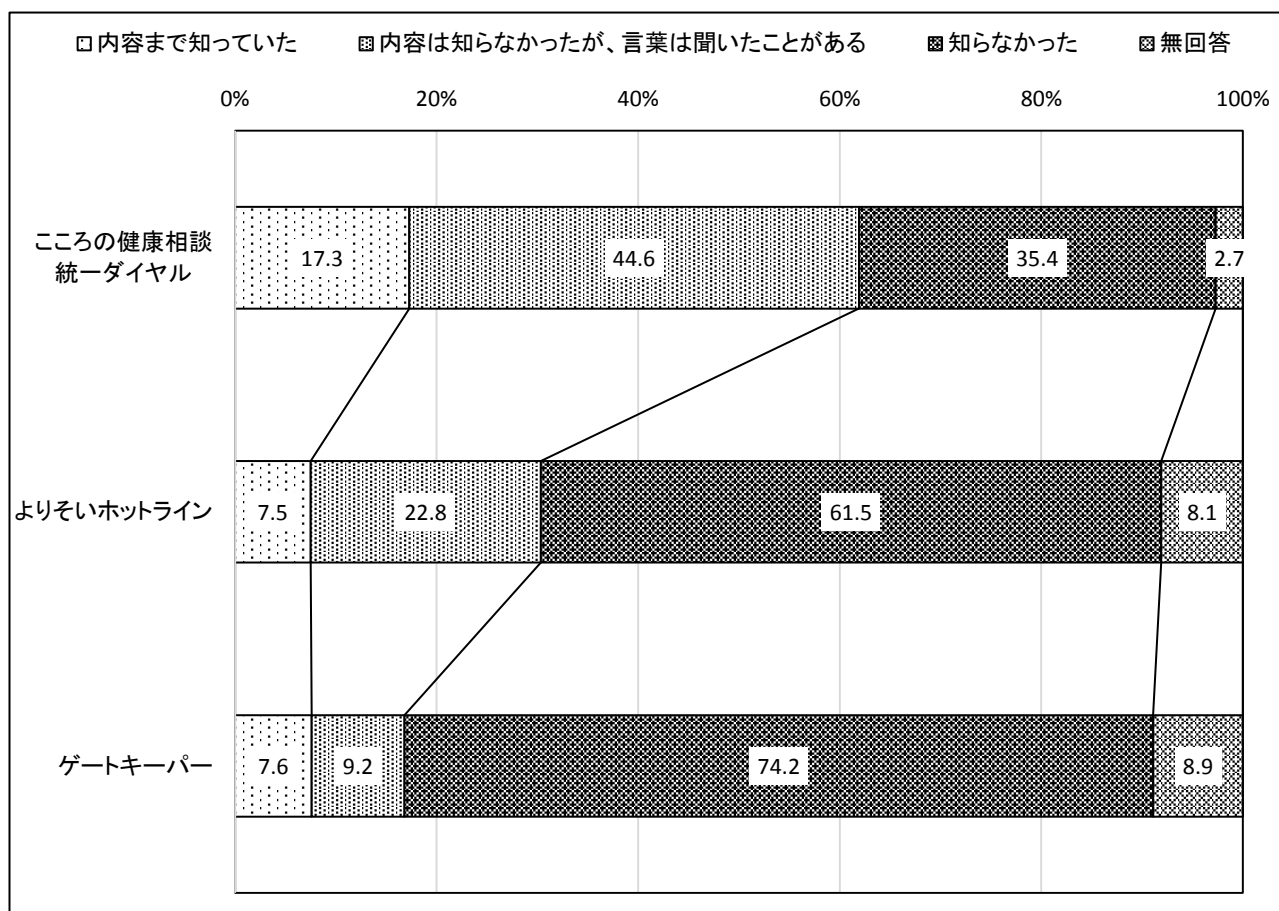
＜自殺対策に関する相談先、役割の認知度＞

「内容まで知っていた」または「内容は知らなかったが、言葉は聞いたことがある」と回答した割合は、「こころの健康相談統一ダイヤル」が約6割、「よりそいホットライン」が約3割、「ゲートキーパー」が2割弱

問11 自殺対策に関する以下の事柄について知っていましたか。次の①から③のそれぞれについて、該当するもの1つだけに○をつけてください。(○はひとつずつ)

		n=1,008	回答数 (人)	割合 (%)
こころの健康相談 統一ダイヤル	内容まで知っていた		174	17.3
	内容は知らなかったが、言葉は聞いたことがある		450	44.6
	知らなかった		357	35.4
	無回答		27	2.7
よりそいホットライン	内容まで知っていた		76	7.5
	内容は知らなかったが、言葉は聞いたことがある		230	22.8
	知らなかった		620	61.5
	無回答		82	8.1
ゲートキーパー	内容まで知っていた		77	7.6
	内容は知らなかったが、言葉は聞いたことがある		93	9.2
	知らなかった		748	74.2
	無回答		90	8.9

●「内容まで知っていた」または「内容は知らなかったが、言葉は聞いたことがある」と回答した割合は、「こころの健康相談統一ダイヤル」が61.9%と最も高く、次に「よりそいホットライン」(30.3%)、「ゲートキーパー」(16.8%)となっている。

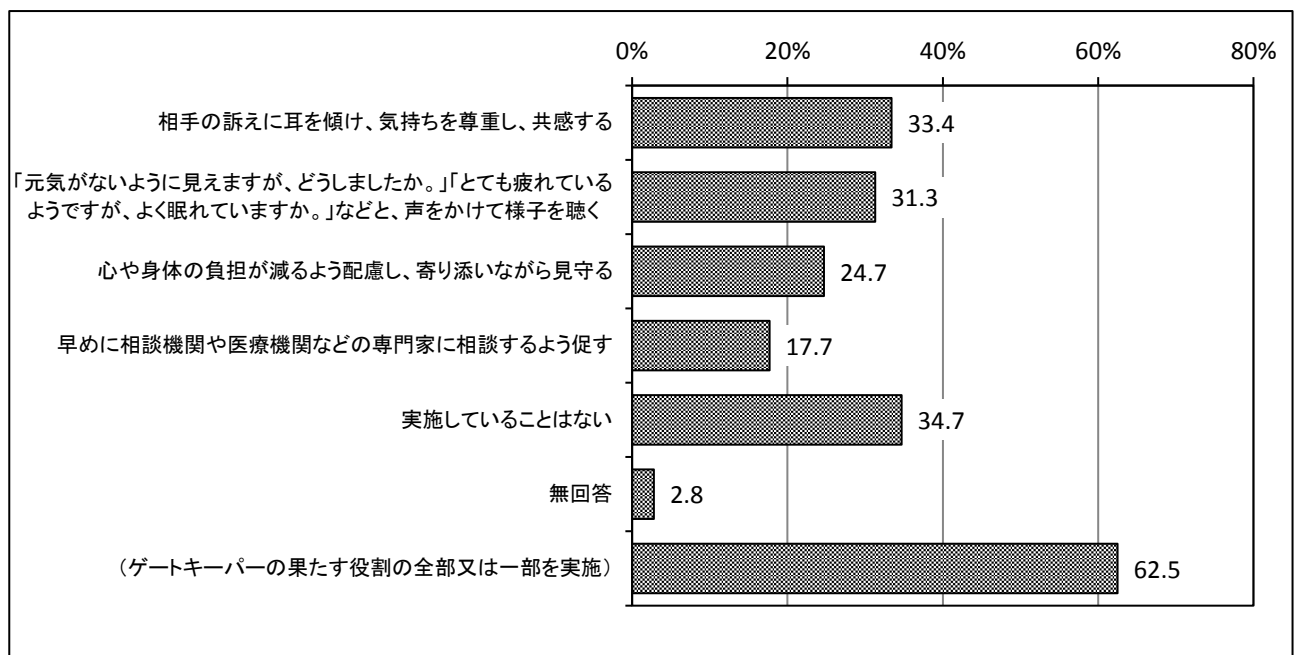


＜「ゲートキーパー」の果たす役割について普段から実施していること＞
 「相手の訴えに耳を傾け、気持ちを尊重し、共感する」、「声をかけて様子を聴く」など、ゲートキーパーの果たす役割の全部又は一部を実施している割合は約6割

問12 「ゲートキーパー」の果たす役割について、次のような事項が挙げられますが、「表情が暗い」「元気がない」など、いつもと様子が違う人に対して、普段から実施していることはありますか。(〇はいくつでも)

	n= 1,008	回答数 (人)	割合 (%)
相手の訴えに耳を傾け、気持ちを尊重し、共感する		337	33.4
「元気がないように見えますが、どうしましたか。」「とても疲れているようですが、よく眠れていますか。」などと、声をかけて様子を聴く		315	31.3
心や身体の負担が減るよう配慮し、寄り添いながら見守る		249	24.7
早めに相談機関や医療機関などの専門家に相談するよう促す		178	17.7
実施していることはない		350	34.7
無回答		28	2.8
(ゲートキーパーの果たす役割の全部又は一部を実施)		630	62.5

●「実施していることはない」が34.7%と最も高く、次に「相手の訴えに耳を傾け、気持ちを尊重し、共感する」(33.4%)、「元気がないように見えますが、どうしましたか。」「とても疲れているようですが、よく眠れていますか。」などと、声をかけて様子を聴く(31.3%)となっている。また、ゲートキーパーの果たす役割の全部又は一部を実施している割合は62.5%となっている。

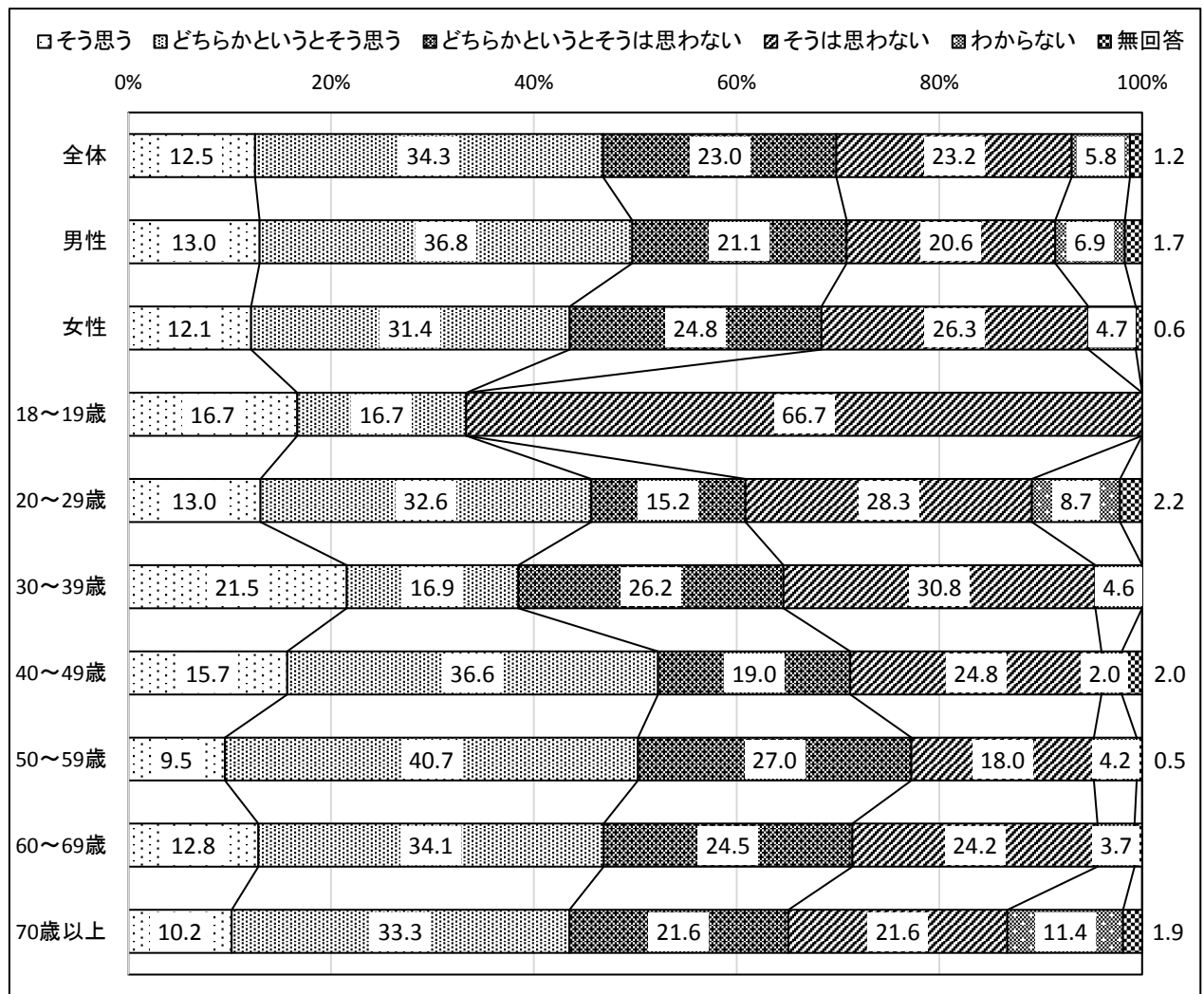


＜誰かに相談したり、助けを求めたりすることへのためらい＞
 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせて5割弱

問13 悩みを抱えたときやストレスを感じたときに、誰かに相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じますか。(○はひとつ)

	n= 1,008	回答数 (人)	割合 (%)
そう思う		126	12.5
どちらかというと思う		346	34.3
どちらかというとは思わない		232	23.0
そうは思わない		234	23.2
わからない		58	5.8
無回答		12	1.2

●全体では「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせて46.8%となっている。また、男女別では、男性(49.8%)の方が女性(43.5%)より高い。年代別では、40代が52.3%と最も高く、次に50代(50.2%)、60代(46.9%)となっている。

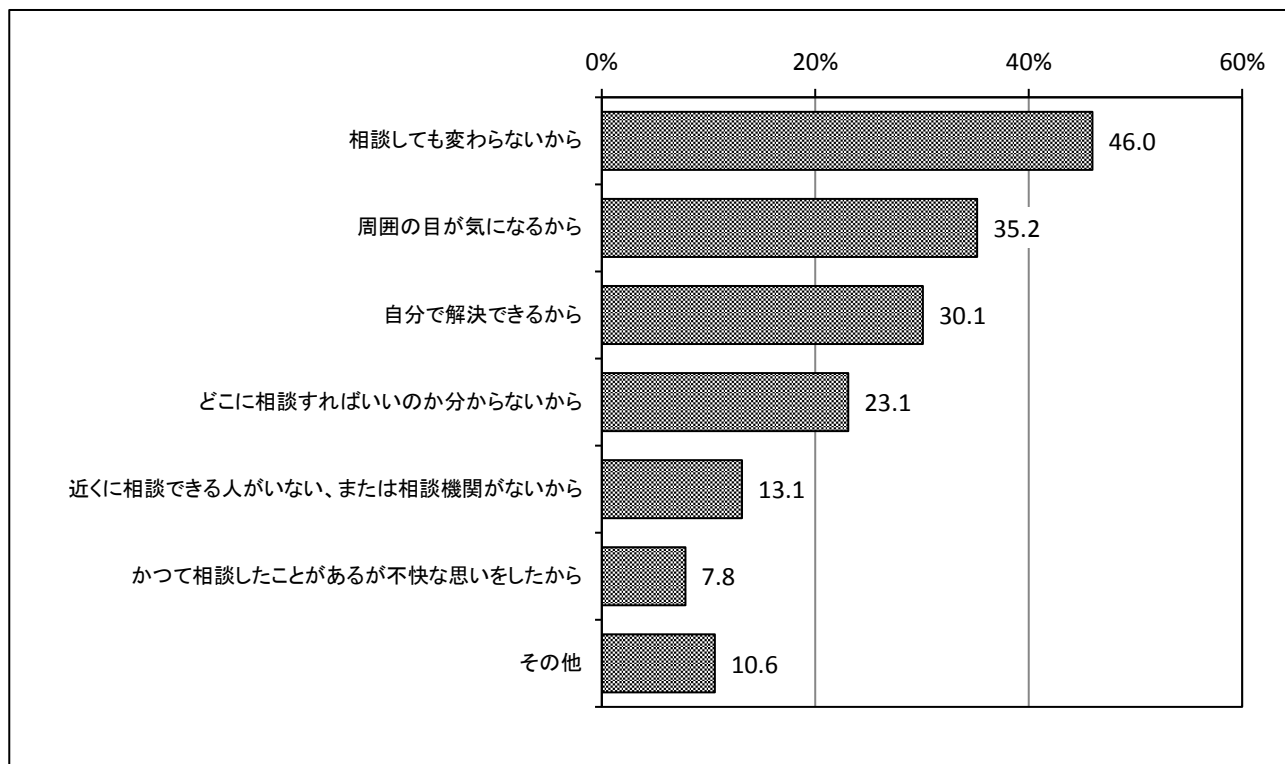


＜誰かに相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じる理由＞
 「相談しても変わらないから」が4割超、「周囲の目が気になるから」が3割超

問14 問13で「①そう思う」または「②どちらかというと思う」を選ばれた方にお伺いします。誰かに相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じるのはなぜですか。その理由について、あてはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

	n= 472	回答数(人)	割合(%)
相談しても変わらないから		217	46.0
周囲の目が気になるから		166	35.2
自分で解決できるから		142	30.1
どこに相談すればいいのかわからないから		109	23.1
近くに相談できる人がいない、または相談機関がないから		62	13.1
かつて相談したことがあるが不快な思いをしたから		37	7.8
その他		50	10.6

●「相談しても変わらないから」が46.0%と最も高く、次に「周囲の目が気になるから」(35.2%)、「自分で解決できるから」(30.1%)となっている。



その他としては、「信頼できる相談相手か不安だから」、「過剰に心配されるのが心苦しいから」、「相談相手(家族等)に心配をかけたくないから」等の回答が見られた。

《県政の広報について》

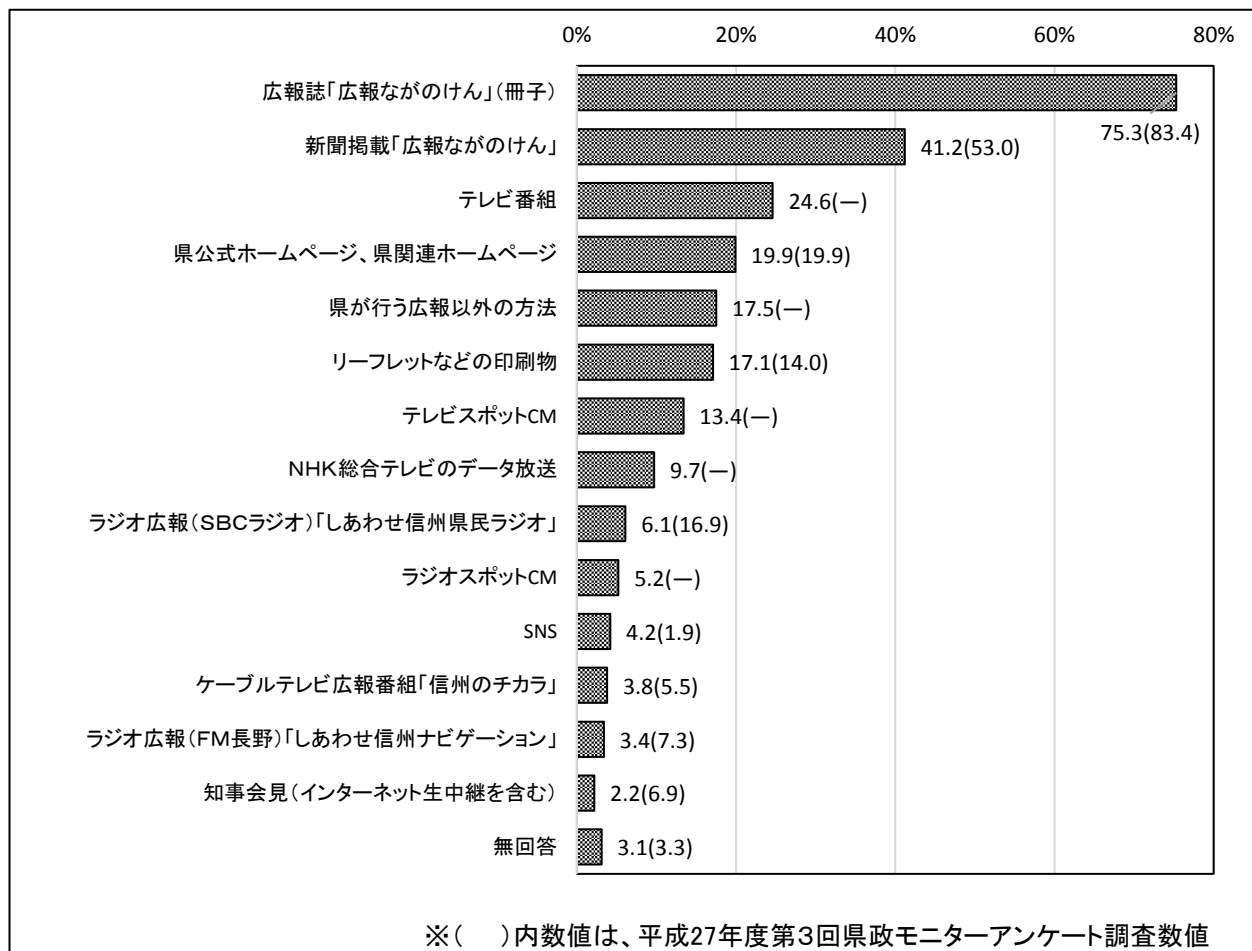
＜県政に関する情報の入手方法＞

「広報誌「広報ながのけん」(冊子)」が7割超、「新聞掲載「広報ながのけん」」が約4割

問15 あなたは、県政に関する情報をどのような方法で入手していますか。(〇はいくつでも)

	H30年度 n=1,008		(参考) H27年度 n=794	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
広報誌「広報ながのけん」(冊子)	759	75.3	662	83.4
新聞掲載「広報ながのけん」	415	41.2	421	53.0
テレビ番組	248	24.6	-	-
県公式ホームページ、県関連ホームページ	201	19.9	158	19.9
県が行う広報以外の方法(マス・メディアのニュースなど)	176	17.5	-	-
リーフレットなどの印刷物	172	17.1	111	14.0
テレビスポットCM	135	13.4	-	-
NHK総合テレビのデータ放送	98	9.7	-	-
ラジオ広報番組(SBCラジオ)「しあわせ信州県民ラジオ」	61	6.1	134	16.9
ラジオスポットCM	52	5.2	-	-
SNS	42	4.2	15	1.9
ケーブルテレビ広報番組「信州のチカラ」	38	3.8	44	5.5
ラジオ広報番組(FM長野)「しあわせ信州ナビゲーション」	34	3.4	58	7.3
知事会見(インターネット生中継を含む)	22	2.2	55	6.9
無回答	31	3.1	26	3.3

●「広報誌「広報ながのけん」(冊子)」が75.3%と最も高く、次に「新聞掲載「広報ながのけん」」(41.2%)、「テレビ番組」(24.6%)となっている。

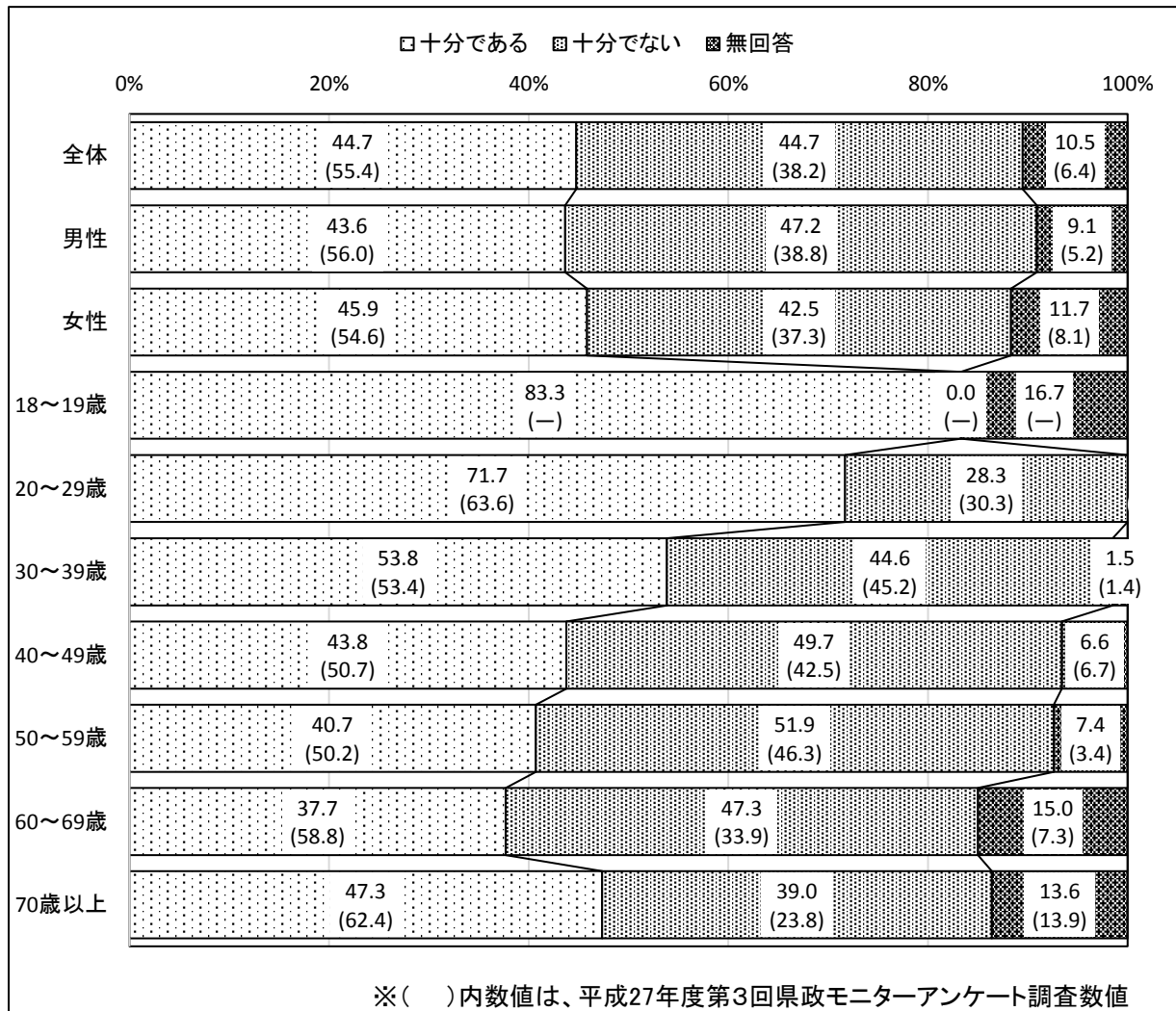


<県からの情報発信について>
 「十分である」、「十分でない」ともに4割超

問16 県の広報は、十分に行われていると思いますか。(〇は1つ)

	H30年度 n=1,008		(参考) H27年度 n=794	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
十分である	451	44.7	440	55.4
十分でない	451	44.7	303	38.2
無回答	106	10.5	51	6.4

●県からの情報発信が「十分である」が前回調査に比べ減少。年代別では、40代(49.7%)、50代(51.9%)、60代(47.3%)において「十分でない」が他の年代に比べて高い。

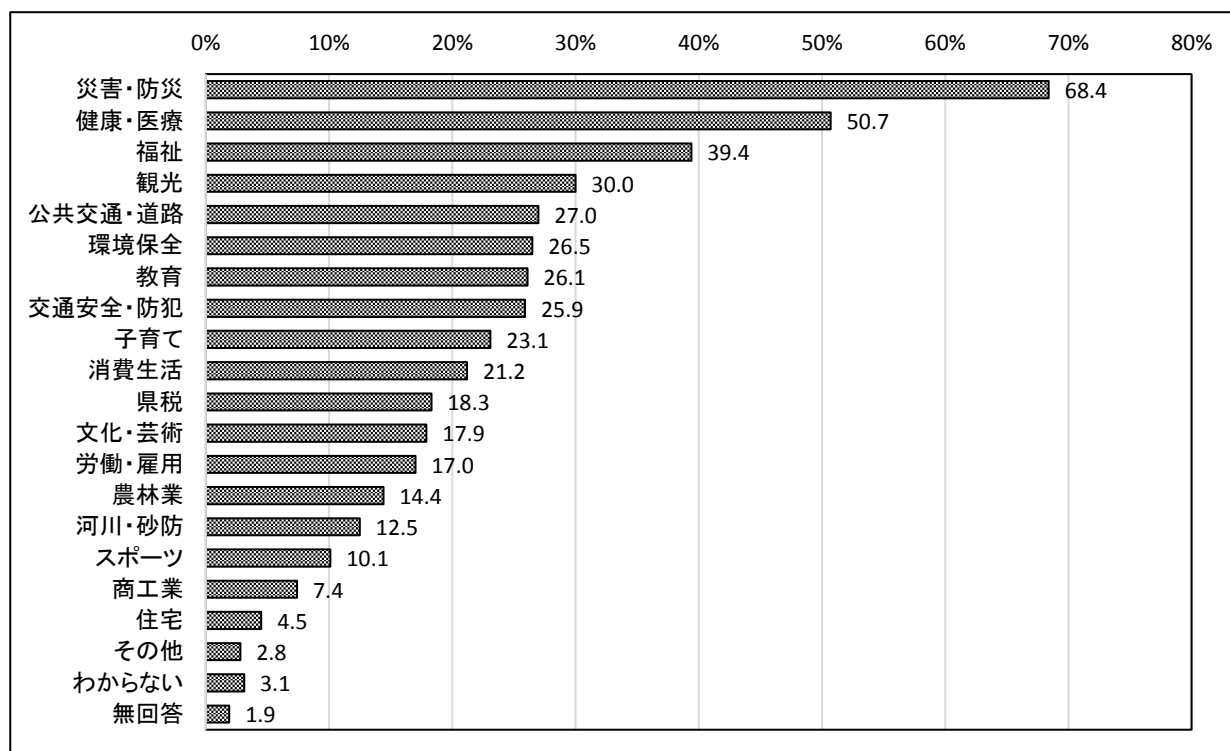


＜今後充実させてほしい県広報の分野＞
「災害・防災」が約7割、「健康・医療」が約5割

問17 今後、どの分野で県広報を充実してほしいですか。(〇はいくつでも)

	n=1,008	回答数 (人)	割合 (%)
災害・防災		689	68.4
健康・医療		511	50.7
福祉		397	39.4
観光		302	30.0
公共交通・道路		272	27.0
環境保全		267	26.5
教育		263	26.1
交通安全・防犯		261	25.9
子育て		233	23.1
消費生活		214	21.2
県税		184	18.3
文化・芸術		180	17.9
労働・雇用		171	17.0
農林業		145	14.4
河川・砂防		126	12.5
スポーツ		102	10.1
商工業		75	7.4
住宅		45	4.5
その他		28	2.8
わからない		31	3.1
無回答		19	1.9

●「災害・防災」が68.4%と最も高く、次に「健康・医療」(50.7%)、「福祉」(39.4%)となっている。

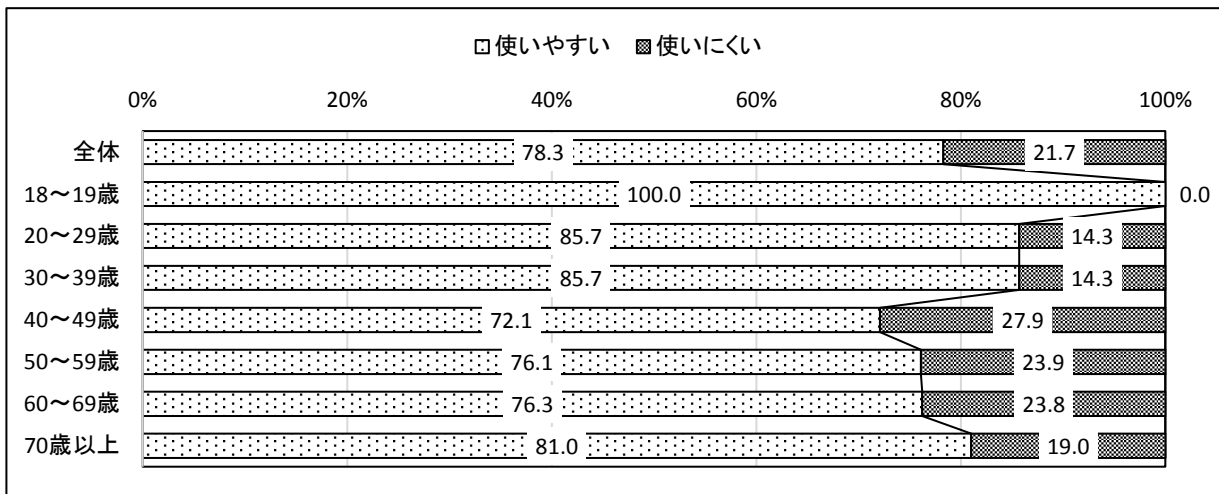


＜県公式ホームページの使いやすさ＞
「使いやすい」が約8割、「使いにくい」が約2割

問 県では、平成30年9月23日に、長野県公式ホームページをより親しみやすくご利用いただけるよう、リニューアルしました。この設問は、リニューアル後(平成30年9月23日以降)の県公式ホームページを利用された方のみお答えください。
県のホームページは使いやすいと思いますか。(〇は1つ)

	n= 345	回答数 (人)	割合 (%)
使いやすい		270	78.3
使いにくい		75	21.7

●「使いやすい」が78.3%、「使いにくい」が21.7%。年代別では、40代(27.9%)、50代(23.9%)、60代(23.8%)において、「使いにくい」が他の年代に比べて高い。



問 県公式ホームページでは、どのような方法で情報を探していますか。
18-2 あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

	n= 345	回答数 (人)	割合 (%)
キーワードから検索(サイト内でグーグル検索)		171	49.6
「目的から探す」を見る		158	45.8
「防災・安全」、「暮らし・環境」など、ページ最上部にある分野から選ぶ		138	40.0
「注目情報」を見る		46	13.3
「発表資料」を見る		37	10.7
その他		7	2.0
無回答		9	2.6

●「キーワードから検索(サイト内でグーグル検索)」が49.6%と最も高く、次に「目的から探す」を見る(45.8%)、「ページ最上部にある分野から選ぶ」(40.0%)となっている。

